

令和3年2月15日 第62号

好地まちづくりだより

好地地区まちづくり委員会
総務企画部会

〒028-3101 花巻市石鳥谷町好地 8-78-3
(石鳥谷国際交流センター内)
問合せ・申込み ☎ 0198-45-6639
(好地振興センター内)



ピヤハウスいしどりや

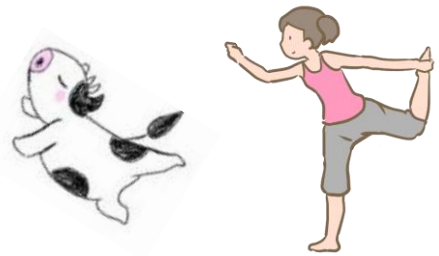
石鳥谷国際交流センター

参加者募集中! 『いきいき健康づくり教室 ヨガ教室』

保健福祉部会

初心者でも、無理せずやり易く行います。腹式呼吸法を中心にゆったりと各関節をほぐした後、優しいヨガのポーズを行います。リラックスしながら気持ち良く楽しみましょう。

- 日 時：3月18日（木）午前10時～11時30分
- 場 所：石鳥谷国際交流センター 和室
- 講 師：花巻市生涯学習講師 佐々木孝子さん
- 定 員：15人（好地地区民）
- 参加費：無料
- 申込み：3月11日（木）までに（電話可）
- 持ち物：水分補給の飲み物、汗ふきタオル、敷き物（バスタオルまたはヨガマット）、その他各自必要なもの



※新型コロナウイルス感染症防止のため、当日は、マスク着用・センター入口の検温・手指の消毒をお願いします。なお、今後の感染症拡大の状況によって、中止とする場合もありますのでご了承ください。

お知らせ『利用制限期間の変更について』

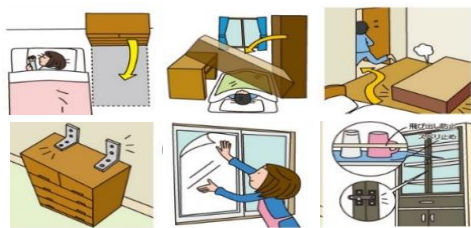
新型コロナウイルス感染症への対応につきましては、対策実施にご協力いただき有り難うございます。花巻市からの通知により、利用制限期間が一部変更になっておりましたのでお知らせします。その他利用制限については、昨年11月21日から変更はありません。

施設名称	石鳥谷国際交流センター	ピヤハウスいしどりや
利用ガイドライン	レベル3【県内市内感染拡大期】	
制限期間	当面の間	
対象制限	市民・市内団体	
開館制限	平日のみ (土日祝日と第2・4月曜は閉館)	通常とおり (毎週火曜日は閉館)
時間制限	9時～17時（夜間は閉館）	9時～21時
利用人数	人数制限あり	
利用時間	2時間以内	制限なし
その他	飲食・調理不可	飲食一部可（弁当可）

地震による家具の転倒・落下防止について

花巻北消防署 (☎45-2119)

東日本大震災(2011)、長野県北部地震(2014)、熊本地震(2016)、北海道胆振東部地震(2018)と地震はいつどこで起こるかわかりません。近年、日本で発生した地震によるけがの原因は、約6割が家具類の転倒・落下・移動によるものです。室内にいる際に地震が起きててもケガなく避難するために、次の項目を参考にして各部屋の家具の配置や固定を見直し地震に備えましょう。



- 家具は倒れる向き・範囲を考えて配置。
- 寝室の家具配置に気を付け、寝ている間の安全を確保。
- 家具は、固定金具を使用。(L型金具や粘着マット等)
- ガラス戸には、ガラス飛散防止フィルム。
- 開き戸式の棚には、開かないように止め金具。
- 食器棚などが倒れないように、重いものを下に収納する。

雪による事故を防ぐために

今年の冬は例年になく大雪となっています。屋根からの落雪や、除雪作業中の事故等の危険性が高まります。事故を防ぐために次のことに注意しましょう。

<ul style="list-style-type: none">・氷柱や固雪が突然落下する確率が高いため、やねに積雪があるときは軒下を通らない	<ul style="list-style-type: none">・除雪機は、操作方法を熟知し、安全確認遵守し、点検給油時はエンジンを停止する。
<ul style="list-style-type: none">・道路に面した場所ではソリ遊びをさせない。	<ul style="list-style-type: none">・除雪車の周辺に近づかない近づかせない
<ul style="list-style-type: none">・落雪の恐れや危険がある場所は、立入禁止処置をとる。 <p>KEEP OUT KEEP OUT</p>	<ul style="list-style-type: none">・二人以上で作業を行い、下の設備等に雪が当たらないようにする。

部会員コラム 『 思いやりの気持ちを持とう 』

昨年、ある会社の支店で「コロナウイルス感染症の職場クラスターが発生」したときの話を聞いた。毎朝夕の検温・マスクの着用・手指消毒を徹底していたようだが、それでも感染は拡大した。感染源は特定されなかったが、保健所からはドアノブ又は蛇口からの可能性が高いと指摘を受けた。

幸い重症者は居なかったが、社員の大半が入院し、濃厚接触者は自宅待機、支店の機能は2週間ほどストップした。

その際、根も葉もない噂や非公表の本人・家族の情報がネット上で拡散され、会社には実名入りで誹謗中傷が書かれたFAXが届いたと言った。

患者にとっては感染の事実だけでもショックだろうに、周りが精神的苦痛を与えるなんてあってはいけない事だと思う。

今思い出しても、間違った情報の拡散スピードの早さ、SNSの恐ろしさ、自粛警察を思い起こさせるような悪質な行為にはぞっとさせられる。

誰でもなりうる感染症。相手を思いやる気持ちを持ち、冷静に行動していきたいと思う。

